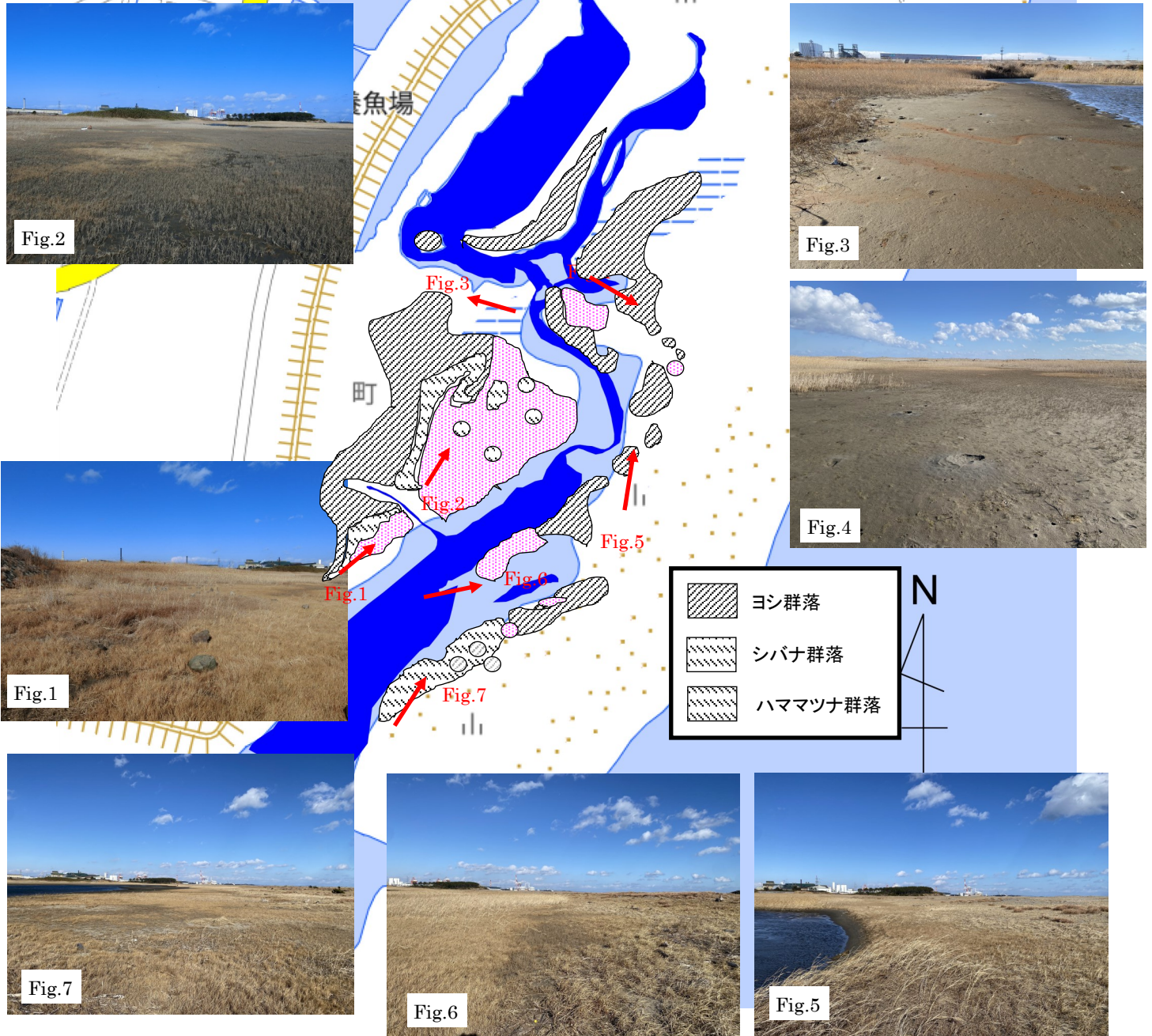


ハママツナの分布③



調査日時：2025年1月31日（金）13:10～14:30，天気：晴れ

ハママツナの生育場所を調査し分布図を作成した。2023年1月31日（水）に調査したとき以来2年ぶりの分布調査である（No. 336参照）。潟湖西側では、ヨシ群落とハママツナ群落の間にシバナ群落が広がっている（Fig. 1）。また、ハママツナ群落の中に円形にシバナ群落が散在していくつか見られた（Fig. 2）。このエリアでは、大雨等による流失でハママツナ群落が大きく削られたこともあったが、今年は削られることなく広範囲に広がっている。Fig. 3のエリアでは、汀線からヨシ・シオグ群落までの間にハママツナは見られない（Fig. 3）。Fig. 4のエリアは、水分を多く含んでおり、満潮時には水の影響が多いエリアと思われる。ハママツナだけのエリアが広がっている（Fig. 4）。Fig. 5のエリアでは強風によりヨシがなぎ倒されていた（Fig. 5）。潟湖南東側では、潟湖に沿って大きくシバナ群落ができあがっており、所々ハママツナ群落が見られるような状況であった（Fig. 5, Fig. 6）。ハママツナ群落であった場所が徐々にシバナに置き換わっていったようである。シバナと合わせてハママツナ群落を注視したい。

（宮崎佳彦）